

番号	項目	指摘事項	対応方針及び対応結果
1	数値目標及びKPI全体	初期値が元々高いのか低いのか。近隣の市町の同様の指標と比べてどうかを踏まえた上で、目標を設定すべきではないか。	近隣市町の同様の数値は別紙のとおり。目標の設定は近隣市町と比較して設定するというよりも、本市で重要度の高い項目を選定している。また目標値もそれぞれ個別に検討して設定している。
2	【KPI】 くるりんばすの利便性に対する満足度(%)	ただ漠然と「満足した」という指標結果だけでは何もわからない。例えば、鉄道駅を基点にして市の中心部とリンクするような形を目指すという位置づけについて説明があると、内容が納得できる。	市民意識調査での悪い印象や転出理由として、交通の不便さが高い値となっている。 本市の主要な公共交通は、鉄道及びバス(名鉄バス・くるりんばす)であるが、市民意識調査における居住小学校区別の分析では、鉄道駅が近くにある小学校区(赤池、梨の木)では、交通の不便さを上げる割合が低い。市全域をカバーする公共交通を考えた場合、くるりんばすは重要な交通手段と考える。 くるりんばすについては、様々な課題を踏まえ検討を進め、路線の見直し等も検討している。 くるりんばすの路線見直しや運行ダイヤの調整等を行うことにより、最適な公共交通サービスを提供することで、「くるりんばすの利便性に対する満足度」が上昇し、ひいては「公共交通の利便性に対する満足度」に寄与するものと考えたため、「くるりんばすの利便性の満足度」をKPIに設定している。
3	【KPI】 くるりんばすの利便性に対する満足度(%)	市が高齢者を対象に交通の問題を解決したいという気持ちはよくわかるが、アンケートではそれをどういう形で実現するのか示す必要があるのではないかと。	公共交通及び高齢者を対象とした交通の問題については、市民意識調査とは別に所管課で詳細なアンケート調査を実施し、課題を抽出したうえで事業を進めている。 本市の主要な公共交通であるくるりんばすについては、様々な課題を踏まえ検討を進め、路線の見直し等を検討している。 くるりんばすの路線見直しや運行ダイヤの調整等を行うことにより、最適な公共交通サービスを提供することで、「くるりんばすの利便性に対する満足度」が上昇し、ひいては「公共交通の利便性に対する満足度」に寄与するものと考えたため、「くるりんばすの利便性の満足度」をKPIに設定している。
4	KPI全体	自主防災組織の世帯カバー率や消防団員の定員充足率は、具体的な指標があるのでわかりやすい。他のKPIは、進捗の原因が分からないものとなっている。指標が上がらない場合の改善策を最初から考えることになる。	刑法犯認知件数を指標にすることで、防犯灯の整備や防犯カメラ設置などが効果的に進んでいるかを測るものとする。 くるりんばすの利便性に対する満足度を指標にすることで、多くの市民が望む地域交通網が形成されているかを測るものとする。 指標が上がらない場合は現在進めている事業に問題があると判断できる。
5	【KPI】 刑法犯認知件数 (人口1,000人あたり)(件)	刑法犯といっても色々な種類があり、不法侵入や特殊詐欺などが実際どうなっていて、何を重点的に対策したいのかが、指標からわからない。また、目標値は3.9ではなく基本は0である。	不法侵入や特殊詐欺の現状については、所管課が把握しており、刑法犯の現状を把握したうえで、防犯施設維持整備事業において防犯灯や防犯カメラを設置している。 このような防犯対策事業を進めていくことで、刑法犯認知件数が減少すると考えKPIに設定した。ひいては「防犯や治安に対する満足度」に寄与すると考え設定している。 また、目標値は0が最も望ましいと考えるが、現実的に可能な数値として設定している。

番号	項目	指摘事項	対応方針及び対応結果
6	【数値目標】 日進市を住み心地のよいところだと感じる市民の割合(%)	4の目標値の根拠が、過去の1番良い数値に戻すとなっている。過去の数値に戻すための施策や事業に思えてしまう。これだけ盛り沢山のことを実施すれば、もっと上がるのではないか。また、下がった要因が何であるかを検証する必要がある。	目標値については、100%が最も望ましい数値であると考えながら、着実に一歩ずつ目標値に近づけることを想定し、これまで最善である数値を目標値と設定している。 数値が下がった要因については、その時々合った事業の取組方法等に問題があると想定できるため、毎年同様の経常的な事業を進めることに合わせ、その時々で必要な施策を検討実施することで、適切に事業を進めていく必要があると考える。今後、割合が下がる要因分析のため、市民意識調査の設問を工夫すること (例：住み心地が悪いと思う理由を、自由記載ではなく市の基本施策分類から選ぶ等)を検討したい。
7	数値目標及びKPI全体	主な事業について、記載されていること以外にも、現実を見ながら事業項目の設定を検討しなければならない。	多くの事業の中から目標とするまちの姿により貢献できる事業を選択し、指標の項目も決定した。今後は委員会の中で、指標の妥当性を検討し、修正・追加することで総合戦略を推進する。
8	数値目標全体	基本目標4には、施策4-1のほかには施策4-2もある。バランスを考えるのであれば数値目標は施策4-1から2つ、施策4-2から2つとした方が良いと思う。	施策4-2「まちの魅力向上と多様な情報発信」のまちの魅力向上については、施策4-1「安全・安心な暮らしと便利な地域交通網の実現」の安全・安心な暮らしこそがまちの魅力向上につながるため、基本目標4は施策4-1に重きをおき目標を設定している。

その他意見

番号	項目	意見
1	数値目標及びKPI全体	数値目標は、KPIの指標を何らかの形で合算させたような指標にするとバランスが良くなると思う。
2	KPI全体	KPIはあるべき姿を想像して、いつまでに何をやるか、その達成率はどのくらいかというもので、自分たちがビジョンを共有することでKPIが設定されると思う。
3	【KPI】 くるりんばすの利便性に対する満足度(%)	日進市に不満を持って転出される方を少しでも減らしたい、そういう目的意識に立つと、「交通が不便である」とはどういう意味なのかを可能な範囲で深掘りした結果、くるりんばすの利便性に重要なポイントがあるかもしれない。このようなつなげ方でKPIの指標を設定することも検討されるといいと思う。